

JAMトピックス

医療関連労組

プレ連絡会議を開催



上：Webの参加者

右：本会場（左側：永井UAゼンセン執行委員、
右側：川野JAM副書記長）

JAMは、医療関連事業に携わる仲間の情報共有と研修活動のできる場として医療関連労組連絡会議の結成をめざしている。

連絡会議結成に向け、6単組の協力の下に準備委員会を立ち上げ、数度にわたり協議を行ってきた。

医療関連労組連絡会議の結成目的や活動内容の理解促進のため、プレ連絡会議を6月21日Web併用で8単組10人が参加した。

当日は、UAゼンセンより永井・小林両常任執行委員も参加した。

永井氏からは「2020年度政策活動報告」・コロナ禍の対応やサプライチェーンの課題・概算要求に向けた要請などの取り組み事例など説明された。

会議冒頭、川野副書記長から医療関連労組連絡会議立ち上げの意義やこの間の取り組み経過などを参加者に説明した。

参加単組は紹介や課題、感想など発言し、意見交換を行った。

JAMにおける医療関連事業の範囲は広く事業内容も様々で、参加者からは今後の活動形式などに関して質問があった。UAゼンセン小林氏からは、活動に関する事例紹介がされた。

今後、受けた意見や46単組のアンケート結果をもとに、JAMらしい気軽に参加できる有意義な連絡会議をめざし、結成に向け準備を進めていく。